

【資料】

1. 交通情報を確認し、渋滞を回避して安全ドライブを！

- 広島 JCT から神戸 JCT 間は山陽道経由より中国道経由が約 36km 長いのですが、山陽道が渋滞した場合中国道経由の方が速い場合があります。

区間名	山陽道経由	中国道経由
広島JCT～山口JCT間	126.2km	149.5km(+23.3km)
広島JCT～神戸JCT間	293.1km	328.8km(+35.7km)
山口JCT～神戸JCT間	419.3km	443.1km(+23.8km)全線中国道利用

- 今年のお盆期間も下図の予測のように、8/13(木曜)において広島 JCT から神戸 JCT 間で 10 km以上の渋滞を複数箇所で見込んでいます。(上り線 1 箇所、下り線 3 箇所)
- アイハイウェイや道路情報板などで渋滞情報をご確認いただき、渋滞を回避して安全ドライブで目的地までの旅行を楽しんで下さい。

■経路別予測渋滞比較図(予測 10 km以上) (H27 年 8 月 13 日(木曜)の予測より)



●○事故渋滞に関して●○
 昨年は、山陽道で 36 回のうち 21 回は事故・故障車の影響があった渋滞でした。この渋滞は、事故処理等のため渋滞長・渋滞時間が長くなる傾向にありますので、最新の交通情報の収集と渋滞を避けたご利用をお願いします。

2. 休憩施設の混雑対策

① SA や PA 駐車場の混雑情報提供

山陽道沿線の SAPA 35 箇所(上下線別カウント)の SA や PA の駐車場の混雑情報を、下図看板にて表示いたします(特に混雑が予想される日の日中)
 また、NEXCO西日本のウェブサイト(右図)では、過去の交通混雑期の休憩施設の混雑状況について掲載しています。



『満・混雑』表示の例



② 混雑時の誘導員の配置及び、バス等大型車駐車対策

過去の交通混雑期(GW、お盆、年末年始等)の状況を踏まえて、特に激しい混雑を予測している期間に、休憩施設等での**駐車場整理員の配置**、駐車場内の長距離バスや大型トラックの円滑な移動の為、**大型車用マス(バス優先マス)の確保と誘導**を行う予定です。ご協力をお願いします。



休憩施設入口部での誘導



バス・大型車用マスの確保と誘導

3. 広島ICから広島空港へ向かう場合は時間に相当余裕をもった計画を!

- 山陽道の広島空港アクセス区間(広島 JCT→河内 IC 間)ではこのお盆期間も、広島周辺→広島空港方向で 10 kmを超える渋滞が 3 回程度、**30 分以上の遅れを予測しています。(過去には事故渋滞で 20km を超す場合、最大 2 時間程度の遅れもあり)**
- また、アクセス区間での著しい渋滞、または、事故等で通行止めした場合には、**広島空港リムジンバスが運休する恐れもあります。**
- 乗り遅れ防止のため、早めの空港移動のおすすめや、代替手段(JR 山陽線→シャトルバス利用)のご紹介をチラシ等で行います。

4. 渋滞緩和に向けた対策及びお願い

① 上り坂など速度低下箇所(渋滞発生箇所)における対策

渋滞の先頭位置付近に、『渋滞の終了のお知らせ』と『速度回復をお願いします』看板を設置し、渋滞の先頭に位置する車に速度の回復を促し、渋滞緩和を図ります。



渋滞先頭位置付近にLED標識で「速度回復お願いします」等を表示。

② 渋滞緩和に向けたお願い

[1] 速度を低下させない！

上り坂など速度低下を注意喚起している場所では、速度回復にご協力をお願いします。

[2] 適度な車間距離を！

走行中は余計なブレーキを踏まないよう、かつ速度に合わせた車間距離の確保をお願いします。

[3] 追越車線に集中しない！

渋滞中における必要以上の車線変更は、更なる渋滞の悪化を招きます。

③ 渋滞発生メカニズム(交通集中全体の58%)

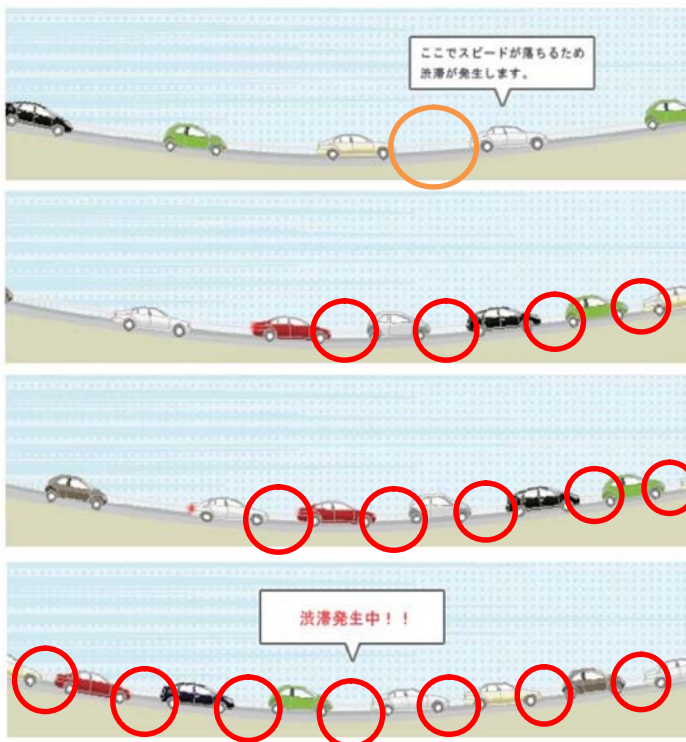
下り坂から上り坂に変わる箇所など、上り勾配区間では

- 無意識のうちに速度が低下
- 後続車は車間確保のため、連鎖的にブレーキを踏む

こととなり、渋滞が発生します。

1. 上り坂及びサグ部【交通集中渋滞の約58%】

下り坂から上り坂にさしかかる所を「サグ」と呼ぶが、そのような所では気付かぬうちに速度低下してしまう車があり、後続の車との車間距離が縮まることから、次々に後続の車がブレーキを踏むことになり、渋滞が起こる。



1) 上り坂に入った車両の速度が自然と低下。ここでスピードが落ちるため、渋滞が発生します。

2) 後ろの車が車間が縮まったことに気づき、速度を落とす。

3) 速度低下、車間距離の縮みが、後続車に次々と伝わる。

4) 下り坂の底部(サグ部)から渋滞！